

## 草の根技術協力（草の根パートナー型）事業提案書要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 事業名	クアンナム省山岳少数民族地域における地域資源を活用した持続的な農村産業促進のための基盤構築事業
3. 事業の背景と必要性	<p>ベトナム中部の主要都市ダナン市に隣接するクアンナム省は、豊かな自然環境や2つの世界遺産を有し、沿岸低地部を中心に観光業、製造業、サービス産業による経済成長が続いている。一方、19の少数民族が居住する西部の山岳地は発展が遅れ、省内の格差拡大が課題となっている。狩猟採集や焼畑農業といった伝統的な生計手段の名残を留める山岳少数民族は地理的条件に加えて文化や生活様式等の違いから物流や人材、情報、機会等に関して孤立的な状況におかれてきた。</p> <p>本財団は2016年より草の根技術協力事業として「ナムザン郡少数民族地域における住民主体による地域活性化のための人材育成事業」を実施し、地域資源を活用した特産品の開発数は120品目を超え、その内約40品目が定期販売となるなど郡内での観光と産業の連携促進と人材育成、収入増加に成果をあげた。</p> <p>これを高く評価したクアンナム省は、ナムザン郡のみならず山岳地域全体で少数民族が主体となる農村産業を促進して格差是正を目指す方針を打ち出した。同省は観光客の更なる増加を予測しつつも、低地にある既存の観光地では受入れ能力が限界に近づいており、山岳地域を含む内陸部の開発を重視している。山岳地域の観光開発においては、農林水産業・製造業・観光業の連携強化と製品・流通の標準化、マーケット志向による品質の向上が急務であるとする省人民委員会から支援の要請を受けた本財団は当提案事業を策定した。</p>
4. プロジェクト目標	クアンナム省の山岳・少数民族地域において、地域の魅力と資源を活用した持続的な農村産業を促進するための基盤である人材育成、官民連携、マーケティング、後方支援の体制が機能するようになる。
5. 対象地域	ベトナム国クアンナム省9郡
6. 対象地域を管轄する在外公館	在ベトナム日本国大使館
7. 受益者層	<p>直接受益者：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 省・郡・社行政官計488人</li> <li>2) 住民地域振興キーパーソン（約300人）</li> <li>3) 住民主体グループメンバー（約1000人）</li> <li>4) エージェント、ローカル・コネクター、協同組合員（63人）</li> </ol> <p>間接受益者：対象9郡の住民304,381人（80,850世帯）*2017年データ</p>
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 草の根レベルにおいて、多様なアプローチ（少量多品種、地産地消、地域ブランド等）を通じた、地域資源（農林産物、伝統工芸活用等）が開発される</li> <li>2. コミュニティ・ベースド・ツーリズムサイトが構築される</li> <li>3. クアンナム省内のクラスター連携を促進した集荷から販売までの一連の流通体制が改善される</li> <li>4. クアンナム省内の製品・サービス（観光CBT）等、省内広域的産業連携を促す分野別（製品・サービス別）協働ネットワークが構築される</li> <li>5. 地域振興促進のための、行政・民間による後方支援体制が強化される</li> </ol>
9. 実施期間	（西暦）2022年3月～2026年10月（計4年7か月）
10. 事業費概算額	93,008千円
11. 実施体制	本財団ベトナム事務所長及び現地スタッフ9名、クアンナム省人民委員会、同省農業局・商業局・観光局、本財団本部事務局（東京）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益財団法人国際開発救援財団
2. 活動内容	開発途上国への国際協力援助事業、災害被災地への緊急援助事業、広報啓発事業

（注：A4用紙1枚以内にまとめてください）